

## 20 年産夏野菜の生産・出荷状況と今後の見通しについて

## だいこん

主産地の北海道の現在の出荷状況は、8 月盆明け以降平年並みでの出方で、天候不順の影響で少なかった去年に比べると多い出回りとなっている。しかし今後は、雨が多くて作業がすすまなかった 7 月中旬播種のもものが出荷される時期になり出荷ペースは鈍ってくる。また、8 月中旬以降雨が多くなりその影響も懸念される。

また、青森産は 9 月中・下旬以降増加してくる時期となるが、8 月中旬以降の雨の影響が懸念される。

9/8 現在の価格は北海道産の 10kg L (10 本) で 1000-900 円。今後の価格の見通しとしては、入荷量は減少する見込みであるため、現状よりやや高値の中での推移が予想される。

## はくさい

主産地の長野産の現在の出荷状況は、平年並みの出方である。今後はやや増加するが、8 月下旬以降の雨の影響もあり極端な増加はないと思われる。

9/8 現在の価格は、長野産の 15kg (6 玉) で 1000-800 円とやや安値となっている。10 日ほど前に涼しくなったときは動きもよく 1500 円前後の販売だった。今後の価格見通しは天候次第で涼しくなれば動きは良くなる。

## キャベツ

主産地の群馬産の現在の出荷状況は、5 月中旬の低温や降霜の影響により 8 月上旬くらいまでやや小玉傾向で平年を若干下回るペースで推移したが、8 月下旬以降作柄も回復し大玉傾向 (9 月上旬の平年の 6 玉比率が 23% に対し今年 37%) の順調な出荷となっている。

9/8 現在の価格は、群馬産の 10kg L (8 玉) で 700-500 円と依然価格低迷が続いて

いる。

○キャベツ主産県の作付け動向

	北海道	岩手県	群馬県	長野県	熊本県
系統共販面積（前年比）	704ha 100%	491ha 104%	2,753ha 100%	1,120ha 102%	217ha 101%

レタス

主産地の長野産の現在の出荷状況は、8月下旬以降の雨の影響もあり出荷量は減少した。今後も大幅な回復は見込めない。

また、後続の産地である茨城についても、8月の定植時期に雨が多く定植が遅れたため10月上・中旬は少ない見込み。

9/8現在の価格は、長野産の10kgL（16玉）で2800-2600円。今後も入荷は少なめで高値基調で推移する見通し。

にんじん

主産地の北海道産は、現在出荷されているものは5月下旬に播種されたものだが、5月は低温、6月は早魃で初期成育は悪く、また8月中・下旬以降は雨も多く、影響が出ている。

また後続の千葉産については10月末から出荷されるが、今年は播種時期の7月末から8月にかけてのゲリラ豪雨の影響で地区によって作柄は大きく違う。全般に数量は多くないと思われる。

9/8現在の価格は、北海道産の10kgMで1700円と高値をつけている。今後の見通しとしては数量的に少なく、高値の販売が予想される。

以上